

総

括

質

疑

3月定例会では、予算審査常任委員会において各会派の代表が、令和3年度予算について一問一答方式による質疑を行いました。

ここでは、その質疑の一部を掲載します。

(予算審査常任委員会小委員会での審査)



都市整備

宮小路 康文

輝(かがやき)

問 3年度の公園緑地整備事業について、公園施設の長寿命化対策で、老朽化した遊具の更新目標はどのようなものか。

答 元年度から10か年の10年度までに老朽化している遊具359基を更新していく予定である。既に元年度と2年度で68基の遊具の更新をしている。3年度については、33基の遊具を、その後、残りの遊具258基を更新する予定としている。



防災

綿谷 正巳

輝(かがやき)

問 災害に備え、計画的にいろいろな種類の物資を備蓄されていると思う。現在の状況と今後の計画はどうか。

答 現在、最大避難者想定人数の3万8千人分の2食分に当たる7万6千食を確保している。この中にはアレルギー対応食品や流動食も含み確保している。また、液体ミルクの追加など充実を図った。今後は、1食分ずつ小袋化したような利便性が高まる形に変更したい。



行財政

大伴 雅章

輝(かがやき)

問 新型コロナウイルスのワクチン接種のコールセンター業務は、どのような体制を想定して契約する予定なのか。

答 本市におけるワクチン接種のコールセンターについては、10回線程度を確保する予定としている。つながりにくいことがないように、状況によっては、増設することも想定しながら、対応していきたいと考えている。



教育

白石 多津子

平成西山クラブ

問 教育相談について、3年度予算では拡充ということになっているが、その内容はどのようなものか。

答 緊急事態宣言で閉鎖期間があったにもかかわらず、教育相談やプレイセラピーの件数が昨年度と比較して大きく増加した。そのため、土曜日の午後開設のプレイセラピーを午前中の2時間増設した。今後も、児童生徒の心理面などをサポートするための相談機能を充実させたい。



公共施設

上村 真造

平成西山クラブ

問 新庁舎等建設に関しては、12月議会で地元業者への発注が積極的に行われることなど決議文も出した。建設業者から結果は報告されるのか。

答 今回の決議文に対して、重く受け止めている。工事請負契約では、地域貢献という条件を付しており、地盤改良や衛生設備関係工事、保安警備、備品などが地元が発注される。また、その結果は、工事施工体制台帳などで報告される。



都市整備

福島 和人

公明党

問 高齢化などを理由に、みどりのサポーターを辞める団体も多い。登録者を待つのではなく、若い世代の転入者にも参加してもらえようかな。新たな展開が必要と考えるがどうか。

答 広報紙に、みどりのサポーターの活動報告や新規登録案内を掲載する予定である。また、環境フェアなどでのPR活動や、楽しさを知ってもらうための花植え体験などの機会を作ることも検討していきたい。



環境

山本 智

公明党

問 野良猫問題に関しては、自治体によって取り組み方もかなりの温度差があると感じている。本市の課題と改善策についてはどうか。

答 課題は、ボランティア団体の中で不妊手術などのTNR活動が、まだまだ広く周知されていないことである。TNR活動が円滑に行われるよう、ボランティアの方々との連携の強化や、個人で活動する方の情報の集約に努めたい。



環境

小野 洋史

平成自由クラブ

問 現在の指定ごみ袋では、高齢者の方はごみ袋が結びにくく、また、ごみステーションまでの持ち運びに苦労している。現在のごみ袋より小さなごみ袋や、取っ手付きのごみ袋の導入はどうか。

答 夏頃から、現在のサイズよりも小さい容量約7リットルの袋を導入する予定である。また、この7リットルの袋は、取っ手付きの形式となっている。



上下水道

富岡 浩史

平成自由クラブ

問 道路整備事業に併せて、向日が丘支援学校前の道路に地下水100%の水道管が敷設される。市内の地下水100%の水道水供給施設の全体のイメージはどうか。

答 これまでの地下水100%の水道水供給施設は、市の東部、南部地域に集中している。市全体のバランスを見ながら、4カ所目の施設を、北部地域の共生型福祉施設構想場所に設置したいと考えている。



都市整備

三木 常照

平成市民クラブ

問 JR東口の駅前広場整備について、藤の棚がある多目的広場は使用頻度が少ないと考える。何かにぎわい創出はできないか。

答 西口の再開発事業では、バンビオ広場公園が整備され、にぎわい創出がされた。東口でもコンサートがされていた経過もあり、西口と東口にぎわいをつなげていきたい。誰もが気楽に集えるなど市民ニーズに即した内容を導入しながら進めたい。



地域振興

広垣 栄治

日本共産党

問 中小企業振興条例を制定するに当たり、事業者や市民に対して、どのように機運を高めていくのか。

答 条例の検討については、元年度から検討準備委員会を立ち上げて進めている。商工会内でも6つの部会長を中心に、条例の検討委員会を発足され、勉強会や意見交換会が実施されている。また、アンケート調査やセミナーなどの取り組みを通し、着実に機運の醸成が進められている。



福祉

住田 初恵

日本共産党

問 3年度は、竹寿苑以外の共生型福祉施設の仕様書を作成し、事業者の選定を行う予定である。具体的な仕様書作成の進め方はどうか。

答 これまでも、障がい児の父母の会の方や、乙訓圏域親の会の方などの懇談を行ってきた。3年度も引き続き意見聴取するとともに、乙訓圏域や府内の実績のある社会福祉法人に対しても、ヒアリングを行い、仕様書作成時に反映させたい。



福祉

小原 明大

日本共産党

問 ひきこもりに関することを事務事業に位置づけ、看板を掲げることで、ひきこもりの相談が可能であると発信することが大事ではないか。

答 ひきこもりに関わらず、相談には多様な課題や背景があり、どんな相談体制をとるのか、今のなんでも相談室の在り方も含めて検討が必要である。その中で、ひきこもりの看板を掲げるのか、なんでも相談という受け方が良いのか議論を深めたい。

この言葉ってどういう意味 語句解説コーナー



プレイセラピー

遊びの中で子どもに自分のことを自由に表現させることにより、本来の自分を取り戻させることを目指す子どものための心理療法です。

TNR

Trap=捕獲すること、Neuter=不妊手術のこと、Return=元の場所に戻すことの頭文字です。